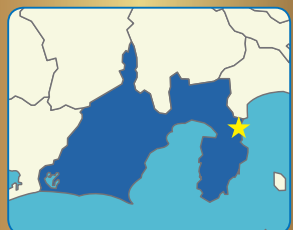




静岡県
熱海市消防本部



熱海市防火協会 夜間マニュアル訓練大会

事例類型 IV他団体との連携

取組期間 平成7年2月から

背景

当市の基幹産業であるホテル・旅館等の宿泊施設において、昭和62年8月2日付け消防予第144号「旅館・ホテル等における防火管理の徹底について（通知）」（以下「指導マニュアル」という。）に基づき、夜間に火災が発生した場合の自衛消防組織の行う対応行動（消火、通報、避難誘導）について、減点方式による夜間マニュアル訓練大会を実施している。

本大会により多数のホテル・旅館等の宿泊施設の関係者に自存自衛の理念が生まれ、防火に対する認識が高く防火管理業の適正化及び消防用設備等の維持管理等の促進について積極的に取り組む姿勢が見られるところであり、官民一体となって安心・安全の街づくりへ「日本でナンバー1の温泉観光地づくり」を目指している。

内容

消防法第8条及び第17条違反のない施設を対象にエントリーを受け付けており、平成28年大会（第22回大会）では17チームの参加があった。熱海市防火協会会員の宿泊施設を競技会場として行われ、審査員は協会理事が各チームの所要時間・対応行動等について厳しい審査を行っている。

本大会上位施設には賞状と盾が贈られ、施設のフロント等に掲示されている。大会の様子は、各報道機関で発表され、また熱海市ホームページへの公表、週間情報・近代消防・ほのお等の機関紙へ投稿をしている。

成果

1. 大会に向けた取組

大会出場のためには法令違反がないことが求められるため、出場を目指す施設で高い防火管理体制が構築されるだけでなく、競技大会に向けて、法令で定められている回数以上の訓練が実施されることとなるため、防火管理体制の強化に貢献している。また、管内施設全体で見ても、消防法令違反等の防火安全上の不備事項について減少傾向にある。

2. 大会終了後

大会終了後は、各出場施設へ訪問し、減点箇所や改善点をフィードバックし実際の自施設での対応行動に活かすよう指導している。

特記事項

賞状等を見た宿泊利用者から当本部に問合せがあることから、建物の防火安全情報としての高い情報発信性があることがうかがえる。

●夜間マニュアル訓練大会の様子



選考委員のコメント

夜間マニュアル訓練を競技会方式にして、旅館街の防火安全の向上を図るモチベーションのアップにつなげたところがユニークであるとともに、適マークに代わる賞状が高い情報発信力を有している。